

教育委員会会議録（10月定例会）

日 時

平成29年10月26日（木）
午後3時から午後3時30分まで

場 所

日立市役所 305号会議室

出席委員

教育長	中山 俊恵
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	土屋 静治

委員以外の出席者

教育部長	鈴木 透
総務課長	清水 透
学校施設課長	大平 利彦
学校施設課課長（新調理場建設担当）	佐藤 行男
学務課長	内山 信弘
学務課課長	木下 俊雄
生涯学習課長	飯塚 優
スポーツ振興課長	志藤 忠博
指導課課長	佐川 章子
郷土博物館長	助川 正則
記念図書館長（兼）視聴覚センター所長	鈴木 士郎
教育研究所長	勝間田 忠彦
宮田調理場長	荒川 敏明
企画員	佐藤 政臣
総務課副参事（兼）庶務係長	中村 大介
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	酒地 康彦
総務課主幹	吉野 成実
総務課主幹	宇佐美 亮

議 事

報 告

報告第10号 教育委員会9月定例会の会議録について

その他

- (1) 平成30年度日立市予算編成方針について
- (2) 茨城県表彰「功績賞」の受賞について
- (3) 教育委員会関連行事等について
 - ア 日立市子ども会育成連合会「第30回子どもまつり」について
 - イ 第17回青少年のための科学の祭典・日立大会について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 それでは、只今から、教育委員会10月定例会を開会します。
まず初めに、本年10月2日付けで新たに教育委員に就任されました、土屋 静治 委員から、御挨拶をいただきたいと思ひます。

委 員 只今御紹介を賜りました、土屋静治です。
本日、初めてこの会議に出席をいたします。
甚だ微力ではございますが、これからの日立市を担う子どもたちが、生き生きと学び、伸び伸びと学校生活を送れる環境を作るお手伝いができればと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

教 育 長 どうぞよろしくお願ひいたします。
また、同日付けで、中村 雅利 委員を、教育長職務代理者として指名いたしましたので、報告いたします。
併せて、今後の教育委員会定例会の会議録の署名者として、中村委員を指名いたします。
続きまして、傍聴の許可についてです。
本日は、傍聴希望者が1名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 1 0 号 教育委員会9月定例会の会議録について

教 育 長 それでは、まず、報告第10号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 そ の 他

(1) 平成30年度日立市予算編成方針について

教 育 長 続きまして、その他に移ります。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長 平成30年度日立市予算編成方針について、説明します。
日立市財政課から、来年度予算の編成方針が示されましたので、説明するものです。

まず、景気の現状と先行きについては、国内・県内の経済状況が「回復基調にある」との判断を示しています。

次に、本市の財政状況と収支見通しです。

平成29年度の一般会計当初予算額は約708億円で、過去最大の予算規模となった平成28年度予算に比べますと、新庁舎建設事業第1期本体工事の概成などにより、大幅な減少となったものの、今年度3年目を迎える「創生総合戦略」の加速化を図るとともに、「後期基本計画」の初年度として、各計画に位置付けた各種施策に対して、重点的に予算配分を行ったところ です。

しかしながら、今後、高齢化の進行などによる「扶助費」の伸びとともに、大型事業、新庁舎やさくらアリーナなどですが、こうした事業の財源の一部とした地方債の元利償還に係る公債費の増など、義務的経費が増加する一方で、人口減少や少子高齢化による納税義務者数の減などにより、収入の根幹である市税収入の減少が避けられない状況であり、収支バランスをとることが難しい、厳しい財政運営を強いられています。

このような見通しへの対応として、人口減少問題などへの対応を図る「創生総合戦略」や、「ひたちらしさ」を最大限に活用し、更なる交流・定住を促し、多くの方から選ばれ、支持されるまちを目指すこととしている「後期基本計画」に掲げる各種施策に着手しているところ です。

また、本市の人口動態における社会減に縮小傾向が見られることから、人口減の更なる抑制を図るためにも、必要な事業には、これまで積み立てを行ってきた「基金」を弾力的に活用するなど、時機を逃すことなく積極的に推進するとともに、引き続き、国・県補助金等の積極的な獲得と、経常経費を中心とした既存事業の見直し、あらゆる収入の可能性を検討するなど、持続可能な財政運営を維持するため、財源確保に向けた取組を図ることが肝要です。

続きまして、平成30年度予算編成の基本方針です。

重点的に予算を配分する項目として、3点が挙げられています。

1点目は、地方創生、人口減少対策です。

まず、創生総合戦略についてですが、30年度は、総合戦略の4年目を迎え、これまで取り組んできた各種施策が効果を発揮し、好循環として機能するよう適時適切に実施効果の検証・見直しを進め、積極的な施策の展開を図るとともに、未実施の事業については、早急に事業化をするというものです。

そして、引き続き、若年層や子育て世帯を対象とした切れ目のない子育て支援、雇用の確保と創出、定住促進、女性の活躍支援などの施策に対しては、重点的に予算が配分されるというものです。

次に、後期基本計画ですが、後期基本計画は、今年度から5年間の市政運営の指針となるものであり、これまで取り組んできた地方創生の流れをしっかりと受け継ぎ、更に深めることを基本としていることを認識し、基本計画に位置付けた高齢者の生きがいと自立支援などをはじめ、各種施策の着実な推進を図るというものです。

特に、重点プロジェクト「ひたち創生戦略プラン」に位置付けた5項目に対応する施策に対しては、予算が重点的に配分されることとなっています。

2点目は、安全・安心のまちづくりです。

市民が安全に、そして、安心して暮らせることが市政運営の基本であることを踏まえ、安全・安心の確保を図るための施策については、時機を逃すことのないよう取り組んでいくというものです。

特に、地域医療体制の確保、防災・防犯体制の整備、空き家対策などの施策に対しては、予算が重点的に配分されることとなっています。

3点目の「震災復興から未来展望へ」についてですが、平成30年度は、未来を展望したまちづくりの推進を柱のひとつに据え、将来に向けた活力あるまちづくりに本格的に取り組む節目の年と位置付け、「ひたちの未来を拓く」まちづくりにつながる取り組みへの推進を図るというものです。

特に、本市の強みである「ひたちらしさ」を積極的に生かし、市民が明るい未来を展望することができる取り組み、人口・市税等の増加につながるような投資に対しては、「基金の弾力的な活用」などにより、重点的に予算配分されることとなっています。

次に、シーリングの実施及び選択と集中による予算編成については、来年度予算編成においても例年実施しているシーリングを設定するというものです。

優先度の高い事業の拡大や、新規事業の構築に当たっては、市民ニーズの少ない既存事業を廃止・組替・統合の上、予算要求を行うこととしております。

これらを踏まえまして、現在、教育委員会事務局では、予算編成方針に基づいた来年度事業の検討を進めているところです。

今後とも、既存事業の成果の検証を進めますとともに、日立市学校教育振興プランに掲げております5本の柱や、「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けております施策、さらには、総合教育会議、教育委員会定例会などにおける委員の皆様のご御意見等を踏まえまして、子どもたちのより良い学校教育環境の整備を推進し、充実した教育行政の実現に向けた予算編成を進めて参ります。

委員 財政状況は非常に厳しいということですが、必要なものに対しては重点的に配分するということですね。

重点的に配分されるものとして、教育委員会では、若年層や子育て世帯を対象とした切れ目のない子育て支援に関するものが対象となると思います。

昨日の朝日新聞に、日立市の主婦の方からの投稿が掲載されました。

その内容は、「3人の子育てをした私にとって、無料のランドセルはありがたく、市民でよかったと思います。選ぶ時間も神経も費用も使わず、何よりでした。」というものです。

ランドセルの支給は、1975年から始まったということですが、日立市の特徴であり、「ひたらしさ」の一つであると思いますので、こういったものについては、是非、予算の確保をお願いしたいと思います。

また、学校訪問などをした際に、図書室が非常に良い環境に整えられていると感じます。

子どもたちの読書意欲をかき立てられるような雰囲気になっており、学校図書事務職員の働きによるものだろうと思います。

子どもたちの読書量もかなり多くなってきていると思いますし、図書事務職員の配置は日立市独自のものでもあるので、引き続き配置するための予算の確保をお願いします。

そのほかにも「ひたらしい」事業が多くあると思いますので、その辺りの予算を確保できるように努めていただきたいと思います。

学務課長 ランドセルについては、昨年、油縄子小学校の入学式にテレビの取材が入り、教育長が新入生にランドセルを贈呈した様子が報道されたこともありまして、非常に反響が大きくなっています。

市内のどこの学校でも、すべての子どもたちが同じランドセルを背負って学校に通えるということは、子どもたちだけでなく、保護者からも好評を得ています。

引き続き、予算を獲得できるように努めていきたいと思っています。

学校図書事務職員については、本市では全校に配置しています。

学校の教員の中には司書教諭の立場の者もいますが、授業の中で図書室を活用するために、図書事務職員には、常時、図書室の中で、

子どもたちが使いやすいレイアウトの作成や資料の展示の工夫をしていただいております、学力向上の面においても非常に有効な図書館運営をしていただいております。

こちらについても、引き続き配置できるように努めていきます。

委員 日立市では様々な取組をしていますが、教育委員会として、これらの事業を今度どのようにPRしていくのでしょうか。

総務課長 まず、他の市町村にあまり例のない「ひたちらしい取組」として、ランドセルの贈呈、学校図書事務職員の全校配置のほか、ブックスタート事業、ひたち大好きパスポート、未来パスポート、職業探検少年団、奨学金制度による定住促進補助など、数多くあります。

これらの取組については、これまでも、市報、ホームページ、ケーブルテレビ、あるいはリーフレットなどを作成してPRするとともに、平成28年度に「子育て応援ハンドブック」という冊子を作成し、その中にも網羅をしてPRを行ってきたという経過があります。

しかしながら、情報を必要とするすべての子育て世帯に対して情報が届いているわけではないという認識もあります。

そのため、今後についてですが、市の広報を強化するために、市長公室にシティプロモーション推進室という専門のセクションが作られているので、そちらと連携を図りながら、例えば、教育版のPRビデオを作成するなどして、様々な機会や媒体を活用し、市内外に積極的に情報を発信していきたいと考えています。

(2) 茨城県表彰「功績賞」の受賞について

教育長 それでは次に、その他(2)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 茨城県表彰「功績賞」の受賞について、説明します。

茨城県は、県の名声を高めるとともに、広く県民から敬愛され、社会に明るい希望を与え、社会の発展に著しい功労や功績があった方や団体を称えるため、表彰を行っています。

この度、日立製作所野球部の100年に渡る活動が、スポーツの振興に多大な貢献をしてきたことから、功績賞を受賞することになりました。

日立製作所野球部は、今年創部100周年を迎えました。この間、社会人野球チームとして常にトップレベルの競技力を維持し、都市対抗野球大会に36回、日本選手権大会に12回出場しています。昨年の都市対抗野球大会では、初めて決勝に進出し、惜しくも準優

勝でしたが、その戦う姿は、県民に勇気と感動を与えました。

また、平成元年から年2回開催している少年野球教室では、現役の野球部員による技術指導や少年団との混合チームでのリレー競争、さくらロードレースでは、ユニフォームで参加することで、地域との絆を深めるなど、スポーツ振興に多大な貢献をしてきた実績が認められ、功績賞の受賞となりました。

表彰式は、県民の日の11月13日に、茨城県庁講堂で執り行われます。

なお、日立製作所野球部は、来月2日から開催される「第43回社会人野球日本選手権大会」に出場し、初戦は、4日の午後6時から「JR北海道硬式野球クラブ」と対戦します。

本大会での日立製作所野球部の健闘を祈念し、功績賞受賞と併せて、ご案内させていただきました。

(3) 教育委員会関連行事等について

教 育 長 それでは次に、教育委員会関連行事等について、説明をお願いします。

ア 日立市子ども会育成連合会「第30回子どもまつり」について

生涯学習課長 日立市子ども会育成連合会「第30回子どもまつり」について、説明します。

子どもまつりは、今年で30回目の節目を迎えます。

11月12日（日）に、日立製作所日立体育館と会瀬グラウンドで、午前9時30分から午後3時まで行うこととしています。

内容については、小学校区を単位とした学区子ども会ごとに、それぞれの活動紹介や、チャレンジゲーム、模擬店などの運営を子どもたち自身で行うほか、百年塾や職業探検少年団などの協力団体も、多数出店することとなっています。

更に、子ども会の会員対象のイベントとして、早押しクイズ大会や、親善都市である桐生市との交流を象徴するまゆ玉ころがし、そのほか、自由に参加できるゲームや福引もありますので、子ども会に入っている方、入っていない方のどちらも楽しく体験をしていただきながら、一日遊んでいただけるものと考えています。

また、今年が30回目の開催ということもありまして、昨年、1年間の目標を記入していただいた「来年の自分へのメッセージ」というメッセージカードをお預かりしていますが、1年後の今回、そのカードを配布することとしています。

イ 第17回青少年のための科学の祭典・日立大会について

生涯学習課長 科学の祭典・日立大会は、平成12年に茨城大会が全国規模で実施されたことを契機に、科学を楽しむ機運を子どもたちに定着させるため、平成13年から毎年行われ、本年で17回目を迎えるものです。

今回は、11月26日(日)の午前9時30分から午後3時30分まで、日立シビックセンターのマーブルホール、1Fギャラリー、新都市広場、科学館を会場に行います。

出展ブースについては、県内各地の学校や研究施設から52ブースの出展があり、来場者が自分で観察したり、作ったり、体験しながら、科学の楽しさを知っていただける内容となっています。

また、特別講演会として、「ニュートリノで解明する宇宙の究極の謎」と題して、天才科学者と言われている、高エネルギー加速研究機構の多田先生にお越しいただき、ニュートリノと宇宙の関わりについて、中学生でも分かりやすいような講演をしていただきます。

この特別講演会は、科学館のサイエンススタジオで行います。入場整理券が必要となりますが、入場料は無料となりますので、是非、御覧いただければと思います。

また、科学の祭典のチラシには、当日のみ使用できる科学館と天球劇場の無料の入場券が付いています。

4 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総 務 課 長 平成29年11月30日(木)午後1時30分から、日立市役所305号会議室で開催予定です。

5 閉 会

教 育 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会10月定例会を終了します。

以 上